


2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 - II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 - III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 - IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 - V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

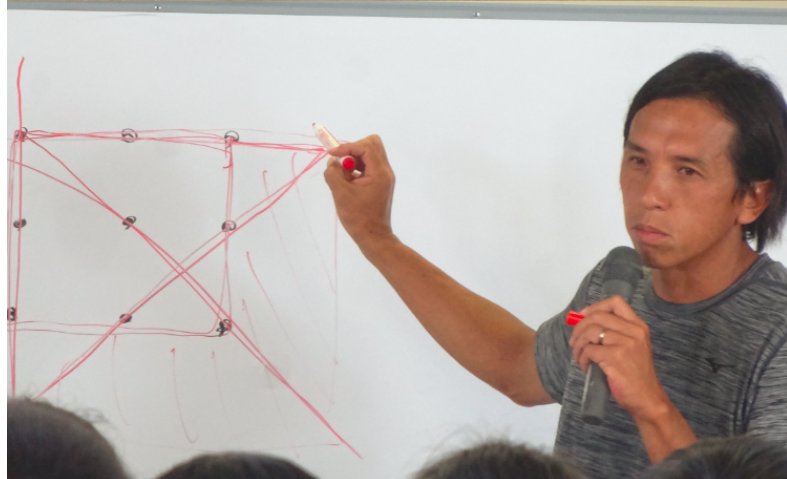
道府県・政令市名【 福岡県 】

学校名【 小竹町立小竹中学校 】

1 実践テーマ	①・ Ⅱ ・③・ Ⅳ ・⑤(複数選択可)
2 実施対象者 (学 年・人 数)	小竹町立小竹中学校・全学年・146名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (道徳・保健体育・総合的な学習の時間)</p> <p>② 行事名 (文化祭)</p> <p>③ その他 (生徒会活動)</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目 標 (ねらい)	<p>○ オリンピック・パラリンピックの教育的価値について学ぶことで、生徒の健全な精神の育成を図る。</p> <p>○ オリンピアンから直接話を聞くことで、目標を持って努力することの大切さを感じ取らせる。</p> <p>○ 障がい者スポーツや国際理解への関心を高めることで、人権尊重の精神を養う。</p> <p>○ オリンピアンや車いすバスケの選手の姿を通して、自分の意見や感想を発信できる力を育成する。</p>
5 取組内容	<p>【事前学習】</p> <p>・「オリンピック・パラリンピック」についての調べ学習(夏休み宿題)</p> <p>・道徳「田端健児」</p> <div style="text-align: center;">  </div>

【実践】

・田端健児さんによる実技と講演



生徒の感想

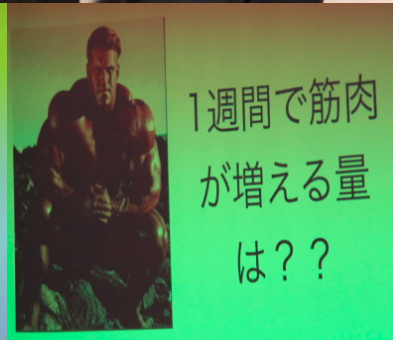
「限界を超えてからこそ成長する」というのが1番心に残っています。私は吹奏楽部なのですが、なかなかうまく吹けないことがあります。なので、自分ができる限界まで練習して悔いが残らないようにしたいです。

自分の足りないところを埋めるために、まず基礎を見直し、練習以上の練習をしてみようと思いました。目標達成のために行動に移そうと思いました。

- ・小竹オリンピック…生徒会による企画運営で以下の種目を実施した
50m 走・ハンドボール投げ・縄跳び・腕相撲・フリースロー
バスケットボール・ドッジボール
- ・文化祭でオリ・パラに関するプレゼン発表
2年生のステージ発表の一つとして、オリンピック・パラリンピックについて調べたグループが、画像やクイズ等で調べた内容を発表した



- 1 選手の健康に害する
- 2 アンフェアになる
- 3 社会に悪影響を与える
- 4 スポーツそのものを
駄目にする



- ・人々を結び付けるスポーツの文化的な働き（体育理論）



- ・車いすバスケットボール国際大会観戦



	<p>車いすバスケットボール大会観戦の感想</p> <p>初めて車いすバスケットボールを観戦して、こんなにも迫力があるんだなあと 思いました。とても激しい戦いの中で、互いにフォローし合っている姿が印象 的でした。</p> <p>想像以上にぶつかり合いが多かったです。日本の選手が後ろにこけそうにな ったとき、カナダの選手が背中を押して支えていたのがとても印象に残りまし</p> <p>私はよくスポーツを見るけど、今回の試合は、初めてどちらの国にも勝利して ほしいなという気持ちになりました。</p> <p>とても感動しました。ぶつかっても転んでもすぐに立ち上がってプレイをしていて すごいと思いました。この切り替えの早さを見習ってみたいです。</p> <p>【事後学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリ・パラ教育全体を通しての振り返り（感想） <p>田端さんから何度も何度も諦めずに続けるということを学びました。そして、 田端さんの陸上に対する情熱を尊敬します。私も８年間続けているスポー ツがあるけれど、田端さんは引退してからも陸上教室を開いていて、みんな に陸上のことを知ってもらいたいという思いが伝わりました。</p> <p>これまでの授業を通して、オリンピック・パラリンピック、ワールドカップにとても興 味を持ちました。来年のオリ・パラも日本代表選手はもちろん他国の選手も 両方とも応援したいと思いました。</p> <p>いろいろな人が支え合ってオリンピックやパラリンピックが行われているというこ とです。私も見るだけでなく、少しでも役に立ちたいと思いました。</p>
6 主な成果	<p>○スポーツは行うだけでなく、支える側や応援する側があって盛り上がる ものだという実感をさせることができた。</p> <p>○実際にオリンピックから話をさせていただいたり、車いすバスケットボ ール大会を観戦したりすることで、中学生という多感な時期に「本物」 に触れさせることができた。</p> <p>○様々な取組を通して、「努力することの大切さ」を感じさせることが できた。</p> <p>○障がい者スポーツ・国際交流の視点で、スポーツを考えることができ たのは、生徒たちにとって人権尊重の観点からも意義深いものであっ た。</p>
7 実践において工夫した点（事業の特色）	<p>○オリンピック（田端健児さん）と会う前に、田端さんの生き方につ いて学習を行った。（道徳科）</p> <p>○小竹オリンピックを行う前に、オリンピック・パラリンピックについ て調べたりオリンピックと会ったりすることによって、競技を「行 う」「支える」「応援する」それぞれの立場について考えた。</p> <p>○文化祭でオリ・パラについて調べた内容を発表することで、オリ・パ ラ教育について保護者や地域の方に発信した。</p> <p>○国際車椅子バスケットボール大会を観戦する前に、パラリンピック 教育として多様な人との関わりについて学習した。</p>
8 主な課題等	<p>○教材教具の開発。</p> <p>○年度途中からの取組であったので、一年間を通した計画が必要。</p>
9 来年度以降の実施予定	<p>○お金のかかる内容(オリンピックを招く・車いすバスケット観戦)は難しい が、東京オリンピック・パラリンピックを取り上げながら、本取組を 継続していく予定である。</p>

--	--